

高鍋

議会だより

12月議会
No.136

今年こそ！ 優勝し《高鍋高校ラグビー部》

一般質問 キヤロライン大使を高鍋に 8P

リニューアルされた町体育館 2P

切原ダムの維持管理の事務を川南町に委託 5P

なでしこサポーター「高鍋SSグループ」 12P

特 別

下水道

- ◆26年度の浄化センターの維持管理（電気工作物保安管理・浄化センター運転管理・汚泥運搬処分等について債務負担行為の設定を行うもの。）
- （問）電気工作物保安管理委託の見積もりは何社からか。
- （答）1社のみ。
- （問）運転管理委託は積算によるものだということだが、見積もりは取っているのか。
- （答）取つてている。
- （問）運転管理委託の積算と見積もりの差が大きいようだが、運転管理のできる人員を計上しているのか。
- （答）管理人員を3人で計上している。積算は、人件費の積算上の労務費の賃金格差により開きが出ている。



総括質疑

- （問）高鍋町の公の施設の指定管理制度の導入に関する指針があり、指定期間を短期間の場合ではおむね3年前後、長期間の場合には5年前後としている。（答）当条例を制定することにより、更なる適正な債権管理ができる。
- （問）債権の範囲は、町民税、固定資産税等の町税、介護保険料、保育料等の強制徴収公債権、施設使用料、老人保護施設措置費負担金等の非強制徴収公債権、及び町営住宅使用料、水道料等の私債権であり、当町における全ての債権である。

一 般

《主な事業》

総務費

- ◆地方バス路線維持費
- ◆高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助

1億6千8百万円

補正額

■定例会が12月9日から18日までの10日間の会期で開かれました。
今定例会では、10件の議案について審議されました。

農水費

- ◆森林整備加速化・林業再生事業費補助費

民生費

- ◆介護給付費
- ◆訓練等給付費
- ◆子育て支援給付システム整備委託
- ◆放課後児童クラブ委託



リニューアルされ標高版が取り付けられた町体育館

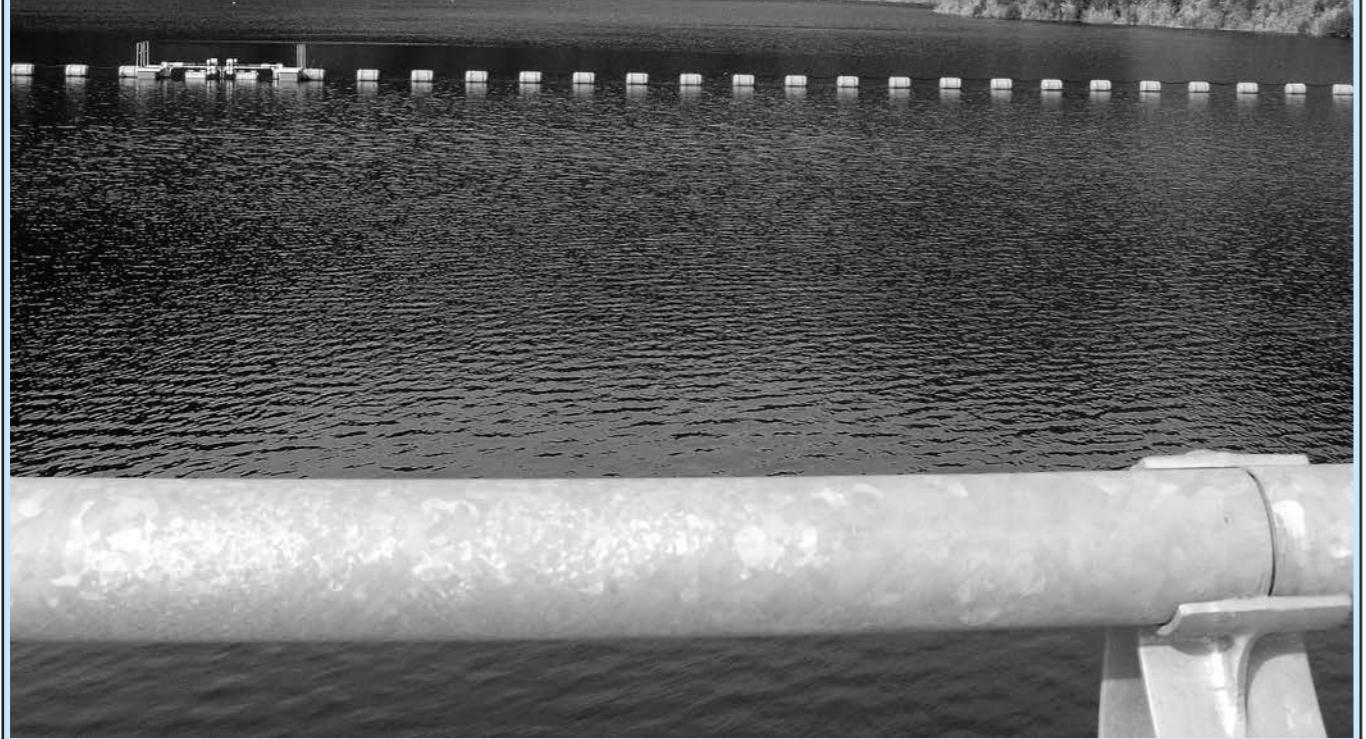
教育費

- ◆備品購入費体育器具

国営造成施設管理体制整備促進事業の 事務委託

切原ダムや青鹿ダムなどの国営尾鈴施設を、適切に維持管理するため、協議により規約を定めて、その事務を川南町に委託するものです。

満々と水を溜めた切原ダム



議案が廃止されました

- 西都児湯視聴覚教育協議会
- 尾鈴土地改良事業に伴う国営造成施設管理体制整備促進事業(操作体制整備型)の事務の委託

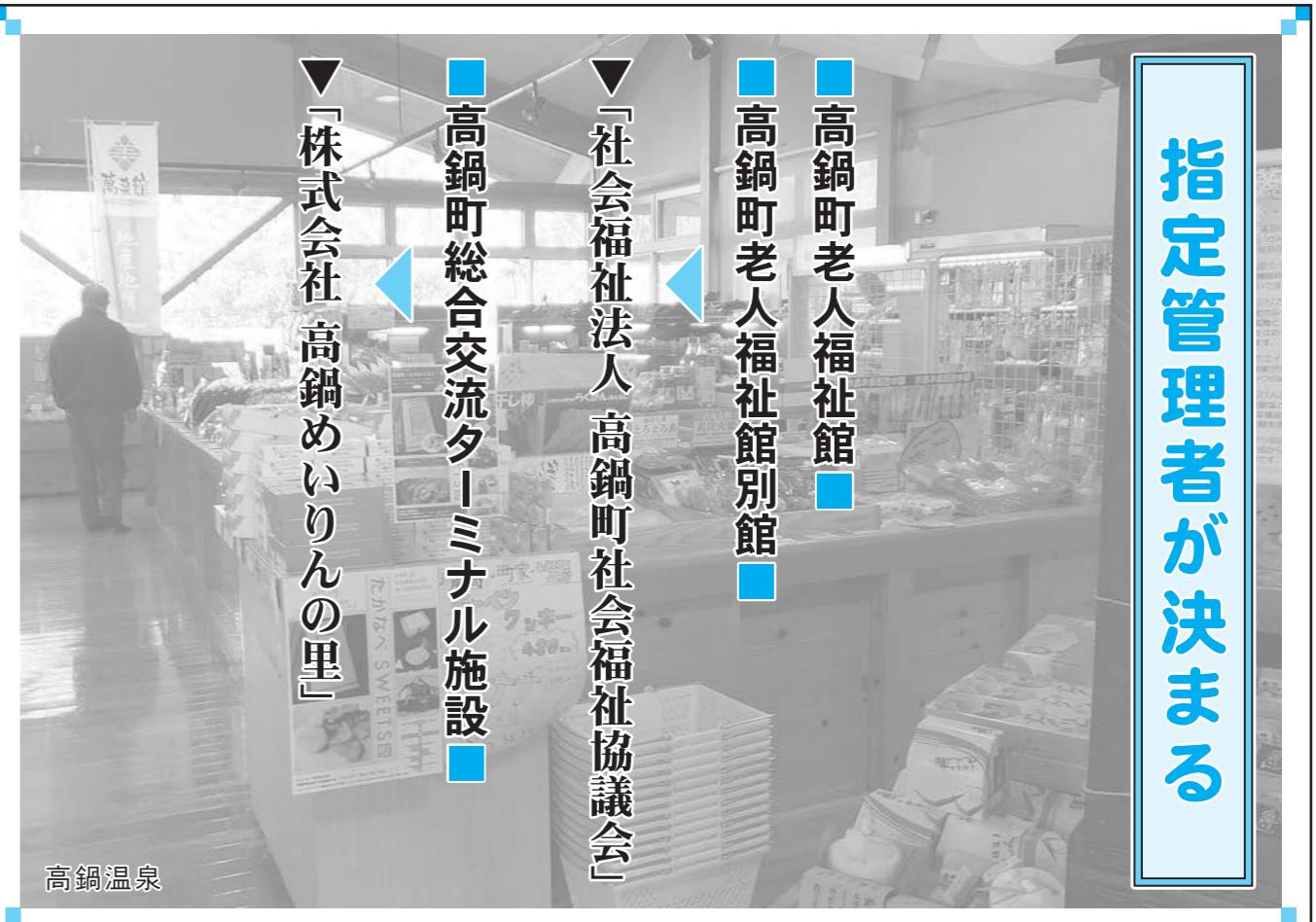
◆社会教育委員設置条例の一部改正
◆高鍋町債権管理条例の制定

条例

人事
固定資産評価審査員会委員
(再任)



篠原房佳さん



ザ・一般質問

中村 法案の原案について周知されているか。

健康福祉課長 介護予防について訪問、デイサービスから切り離され、地域支援事務に移行することは聞いている。

中村 介護保険改正法に伴うこれから的是正で公平化、特老入所基準の変更などが、最終案として取りまとめられている。

中村 要支援1と2に

健康福祉課長 詳細に業と判定された要支

援者はどうなるのか。

中村 それでは総合事

業については示されてい

ない。

青木 国際交流事業の一環として、上杉鷹山公について言及したキャロライン駐日

米大使を高鍋町に招請の考えは。

町長 知事と話をしながら方向性を見出したい。



高鍋議会だより



教育長 ケネディ大統領が鷹山公を尊敬したことについて子供たちに伝えていきた

青木 東小の人形まつりを活用し児童生徒が大使宛に手紙を書いては。

青木 舞鶴公園整備と眺望、島田圃場跡地利用対策は。

青木 町民の日記念式典の縮小・後退の原因についての今後の記念講演会等の検討は。

青木 若者定住対策は業の誘致や立地による雇用の場創出に取り組む。



介護保険の改正は地域にあわせた形になる

本作として耕作する方向性になると考えている。米粉用、飼料、加工米への転作が報道されているが、販売先の確保の課題を解決する為、農協等とも協議していく準備をしている。

徳久 献血を通して人を救うという思想を生徒のみでなく、保護者にも啓発を。

徳久 献血の理解促進、啓発活動は、防災文化定着の一つの方法と考える。

※この他、平成26年度予算についても質問を行いました。

徳久 TPPをふまえ減反政策はどうなるか。

町長 5年後に減反政策に廃止の方向性が打ち出されているが、転作という概念から、主食米と別の作物を

ポートを取りながら、平成27年度からの6期計画に反映したい。

徳久 アンケートを取りながら、5年後に減反政策はどのように考えるが。

町長 5年後に減反政策に廃止の方向性が打ち出されているが、転作という概念から、主食米と別の作物を



町長 引き続き新規企業の誘致や立地による雇用の場創出に取り組む。

青木 次世代への防災教育や専門知識の人材の育成等、町民の防災力を高める取り組みを継続的に実施することが必要。

町長 献血の理解促進、啓発活動は、防災文化定着の一つの方法と考える。

徳久信義議員

キャロライン米大使を高鍋町に方向性を見出したい



適切なタイミングで発表 避難勧告・指示の発令は

徳久 伊豆大島を襲った台風26号では避難勧告や避難指示が発令されておらず被害が拡大したが。

徳久 突發的な災害時、町長不在時の勧告等の発令は誰が行うのか。

町長 第二位が副町長、適切なタイミングで発表

徳久 庁舎の耐震性向上で業務継続が図られると考えるが。



東小学校津波避難訓練

青木 高鍋町総合計画将来像実現に向けての予算編成は。

町長 安易な基金取崩しをせず必要性や緊急性、国・県補助金、財源の有無等、優先順位をつけ、選択と集中の観点から編成したい。

教育長 学校教育・社会統計(年齢別)発表の結果、当町における長、第三位が総務課長である。

徳久 各部署の業務統計画(BCP)作成の進捗状況は。

町長 地域防災計画との調整が必要である。

教育長 子どもの発達

徳久 伊豆大島を襲った台風26号では避難勧告や避難指示が発令されておらず被害が拡大したが。

徳久 突發的な災害時、町長不在時の勧告等の発令は誰が行うのか。

町長 第二位が副町長、適切なタイミングで発表

徳久 庁舎の耐震性向上で業務継続が図られると考えるが。



東小学校津波避難訓練

青木 26年度予算編成方針将来像実現に向けての予算編成は。

町長 安易な基金取崩しをせず必要性や緊急性、国・県補助金、財源の有無等、優先順位をつけ、選択と集中の観点から編成したい。

教育長 学校教育・社会統計(年齢別)発表の結果、当町における長、第三位が総務課長である。

徳久 各部署の業務統計画(BCP)作成の進捗状況は。

町長 地域防災計画との調整が必要である。

教育長 子どもの発達

津曲牧子議員



観光資源でおもてなしを 観光ツアーを検討する

産業振興課長 高鍋大師、持田古墳は人気のスポットだと考えているので、力を入れていく。昨年9月時点で1万人の観光客が訪れている。

津曲 女性をターゲットにしたコース設定は。



津曲 「ひとにやさしいまちづくり」の一環で石井十次先生没後百年の計画は。

津曲 予育て世代の利

町長 花守山整備事業は、観光振興の拠点地域として高鍋大師周辺に花や木を植え、四季折々に楽しめる施設として整備する。

社会教育課長 いわきひろ展は、開催の条件の認識の食い違いが出てきたことによるもので再協議の結果、来年度開催の方向で準備を進めている。東村アキコ展は交渉の中での諸事情で開催ができる。



津曲 ここ数年申し込み者数が増えている放課後児童クラブの今後の方向は。

緒方 現図書館は古文書などを中心に活用し、新たに中央公民館別館に図書館を移設できればと考えるアンケート等を総合的に検討してもらう際にはそのことも念頭に入れて頂きたい。

琴弾橋(蚊口地区)の 架け替えについて 木の橋は困難



黒木正建議員

黒木 琴弾橋の老朽により、橋げた等の腐食が進み、通行不能となっている。歩行者、自転車等、利用者も多く不便を感じているが、調査は。

町長 橋梁調査業務委託を実施し、今年度3月末には終了。

黒木 どういった構造になるのか。**建設管理課長** 鉄筋コンクリート等の橋でないと許可は出ないとと思っている。

黒木 どういった構造になるのか。**建設管理課長** 鉄筋コンクリート等の橋でないと許可は出ないとと思っている。



黒木 収集日が祝日と

町民生活課長 いろいろと検討してきた経緯はあるが、ようやく安定してきたと思われる。

も指導していきたいのでご理解願いたい。

◇宮田川(日豊本線古港橋西側)堤防の嵩上工事について

黒木 両岸とも一部が進展は。

黒木 両岸とも一部が進展は。

黒木 両岸とも一部が進展は。

黒木 両岸とも一部が進展は。

黒木 両岸とも一部が進展は。

花守山の駐車場は 大型バス含め計画



緒方直樹議員 果については。

緒方直樹議員 果については。

緒方直樹議員 果については。

緒方直樹議員 果については。

なでしこ サポーター

イベント、事業に 積極参加



灯籠まつり準備の様子

永友 何か高鍋のため
に貢献できないかと
思い入会しました。
中竹 様々な交流を通
した自己の成長と研
鑽を目的に加入しま
した。

記者 SSグループに
入られたきつかけは。
若山 亡き父の仕事の
後を継いだばかりで、
高鍋に知り合いをつ
くりたい気持ちが一
番でした。

たる40才までの高鍋の企業
の継者、一代目、二代目の
高鍋SSグループ（会
員）を訪ねました。S
のいろいろな行事やイベ
ントに参加し、企画準備・
現場の仕切り・裏方作業
などを通じ地域経済の発
展に貢献されています。



SSグループ学習会の様子

記者 これまで嬉しかったことや楽しかつ

記者 町民の方々へア
永友 ピールしたい事は。
SSグループの

若さをどんどん發揮していきたいので、色々な所で気軽に声をかけてもらえれば幸いです。

若山　若い集団で、学習活動も実施し、そのような中で苦労しながら、失敗もしながら頑張っています。これからも町民の方々に暖かく見守つていただければ嬉しいです。

◆編集後記◆

年末から年始にかけて、お正月を家族と一緒に過ごそうと、多くの人が帰省する。

年越しそば、おせちや雑煮を囲み乾杯し、家族団欒で新年を祝う。そこには「喜び」や「笑顔」があり、そして「絆」が

ある。

若手の経営団体で
地域の活性化のため
に頑張っています。
「やっぱ高鍋最高やね」
と言つてもらえるよ
うな活動をしていき
たいと思いますので、
今後ともよろしくお
願いいたします。



岩村道章
会長

しかし、その環境を取
り巻く厳しい現状の課題
に対し、私たち議員に課
せられた役割も大きいと
痛感。

人の輪が広がり、温も
りのある「ふるさと高鍋」
にしたい。

(青木善明記)

◆編集後記◆

議会だより No.136

平成26年2月7日発行

■発行者 高鍋町議会議長 山本 隆俊
■編集 議会広報編集特別委員会

☎(0983)26-2020
■印 刷 熊谷印刷(株)